

# 令和7年度 第44回関東ブロックスポーツ少年団大会 ミニバスケットボール交流大会 県北地区予選大会 要項

- 主催 茨城県バスケットボール協会 U12部会 県北地区連絡協議会
- 期日及び会場
  - ・令和7年 6月 1日（日）【男女1次予選】 会場 = 小学校体育館
  - ・令和7年 6月 7日（土）【男子1次予選】 会場 = 小学校体育館
  - ・令和7年 6月 8日（日）【男女2次予選・交流戦】 会場 = 高萩市民体育館、北茨城市民体育館
  - ・令和7年 6月15日（日）【男女決勝リーグ】 会場 = 後報
- 日程
  - ・集合・準備 8:00～
  - ・代表者会議 8:30～
  - ・第1試合 9:00～
- 大会参加資格
  - (1) 2025年度 日本バスケットボール協会へのチーム・個人登録済みであること。
  - (2) 2025年度 スポーツ少年団のチーム・選手（団員）登録済みであること。
  - (3) 2025年度 スポーツ安全協会保険に指導者、選手ともに加入済みのチームとする。
  - (4) JBA公認指導者（E級以上）、JSPO資格者（公認スポーツ指導者）が自チームにおり、1名以上登録（ベンチに入る）できるチームであること。
  - (5) 代表者会議・組合せ抽選会の当日に、参加手続きを済ませたチームとする。
  - (6) 登録選手5人未満では参加を認めない。5人以上であればフレンドリー参加を認めるが次の試合へは勝ち上がれない。  
※但し、理事会承認により5人未満の単独チーム同士の合同参加は可とする。その際勝ち上がりはない（選手救済の為）
- 勝ち上がり資格 および 県大会推薦（参加）資格
  - (1) 「4. 大会参加資格」を満たしていること、且つ 登録選手8人以上のチームであること。
  - (2) 上記参加資格を満たしていれば、選手が8人揃わなくても大会への参加は認めるが 次の試合へは勝ち上がれない。  
※8人未満のチームで5人のチームは全員フル出場。6人の時は2人が4Q出場、7人の時は全員2Q出場、1Q休むこと。
  - (3) 同様に大会当日に 選手が8人登録チームは8人、9人登録チームは9人、10人以上登録チームは10人に満たない場合も次の試合へは勝ち上がれない。
- 参加費 1チームにつき、4,000円とする（代表者会議・組合せ抽選会前に納入）
- 組合せ 組合せ抽選は代表者会議の場で行う。別紙（組合せ）のとおり。
- 競技上の注意
  - (1) 競技方法は、リーグ戦（予選／決勝）とする。
  - (2) 競技規則は、日本バスケットボール協会（JBA）発行のU12カテゴリーを適用する。
  - (3) ベンチは 組み合わせ番号の若いチームが、コートに向かってオフィシャル席の左側、ユニフォームは白色を着用する。
  - (4) ベンチには、選手15名以内、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、チーム関係者1名、マネージャー1名の合計19名以内とする。 ※マネージャーには小学生を登録することができる。  
規則として公認指導者（JBA公認E以上の指導者）、JSPO資格者（公認スポーツ指導者）を**1名以上同席**させる。  
ベンチで指揮を執る者は、JBA公認指導者（E級以上）とする。
  - (5) 公式スコアシートは、「MINI\_scoresheet\_20190401-v2」Excel版を使用する。
  - (6) メンバー表は、1試合につき2枚用意し（TO用 及び 対戦チームへ各1枚）  
TO用のメンバー表は、前試合開始3分前までに指定のスコアシートに貼り付けをし、もう1枚は対戦チームに渡すこと。
  - (7) 選手の登録については、原則として淡色（白色チーム）が先に登録する。第1・第3クォーターに出場する選手は1分前の合図があったら直ちにオフィシャルに登録する。また、第2・第4クォーターに出場する選手は、前クォーター（第1・第3クォーター）終了直後に登録する。
  - (8) 予選リーグの競技時間は、「前半5分-（1分）-5分（ハーフタイム5分）後半5分-（1分）-5分」とする。  
**決勝リーグは、「前半6分-（1分）-6分（ハーフタイム5分）後半6分-（1分）-6分」とする。**  
後半が終わったときに両チームの得点が高点の場合は、延長戦を行う。延長戦は1回3分間を行う。  
それでも 同点の場合は、1回3分間の延長を必要な回数だけ行う。各オーバータイムでは、後半と同じバスケットを攻撃する。  
また、各オーバータイムの前に2分間のインターバルをおく。
  - (9) リーグ戦の順位決定方法は、勝敗記録（ポイント）によって決定する。各ゲームに勝ったチーム2ポイント、各ゲームに負けたチームに1ポイント、各ゲームの没収によって負けたチームに0ポイントが与えられる。  
順位決定方法は、JBA競技規則 D-チームの順位決定方法を準用する。【P.95～P.101】
  - (10) ゲームの没収については、JBA競技規則 第20条を準用する。【P.35】
  - (11) オフィシャルは、割当表によるものとする。オフィシャルを行うチームの指導者、または「5/18合同講習会を受講した保護者」が必ず1名オフィシャルに付きTO主任となる。 ※TOマニュアル 参照のこと
  - (12) ディフェンスは、マンツーマンディフェンス基準規則による。
  - (13) 全試合コミッショナーを配置する。マンツーマンコミッショナー運用マニュアル、JBAマンツーマンディフェンス基準規則に則り判定する。

(14) ゲーム中ベンチから立ってプレイヤーに指示を与える者はJSPO公認スポーツ指導者資格またはJBA公認指導者資格（C級以上）を取得している指導者でなければならない。

## 9 県大会およびその他大会への推薦

この大会の結果を基に、令和7年度 第44回関東ブロックスポーツ少年団大会ミニバスケットボール少年団競技別交流大会に 県北地区連絡協議会が、県北地区代表として **男女各2チーム** を推薦する。

## 10 感染対策

- (1) 選手・保護者・大会役員・競技役員・大会関係者全ては、各自で基本的な感染防止策を実施して下さい。
- (2) チーム内でコロナウイルス、インフルエンザ等の感染者がでた場合は、速やかに「感染対策委員長 杉内（理事長）」に連絡すること。感染した場合については、「発症した後5日を経過し、且つ解熱した後2日を経過するまで」を参加停止期間と致します。

## 11 その他

- (1) 大会の参加にあたっては、チームの責任において参加すること。又、必ず各選手の保護者の承諾を得ること。
- (2) 選手の健康診断は各チームの責任において実施すること。またチームにおいて応急処置のできる物を用意すること。
- (3) エントリーの変更（登録選手及びチーム関係者）は、大会日毎に当該選手と登録済みの登録外選手との入れ替え及び登録済み選手の追加登録を認める。 ※登録選手間でのユニフォーム番号の変更は認めない。
- (4) 各チームは必ず審判・コミッショナー員を帯同すること。  
その際、審判員は審判ウェア及びワッペンを着用すること。
  - ① 当日審判・コミッショナー・TO主任がいないチームは、朝の代表者会議時、会場の各委員にその旨を伝えること。
  - ② 前もって大会日に審判・コミッショナー・TO主任がいないことがわかれば、前日までに各委員に連絡をすること。
- (5) 各会場の準備と後片づけは全チームで取り組んでください。
- (6) 参加各チーム指導者は、大会期間中、審判、TO、コミッショナー、競技等の運営に協力して頂きます。  
決勝日については、当該チームが勝上りでないチーム指導者でも、割当となります。
- (7) 体育館の使用については会場の規定に従うこと。  
特に、上履きと下履きの区別はきちんとすること。持ち物の整理と管理は十分に、ゴミは各自で必ず持ち帰ること。
- (8) 駐車場は、他施設・地域住民の方々に迷惑のかからないように、ルールを守ること。
- (9) 選手やチーム関係者の競技中又は大会中の事故や傷害及び疾病（感染症）について、主催者は責任を負わない。

### <緊急病院案内>

- ・緊急医療情報コントロールセンター（029-241-4199）
- ・北茨城市民病院（0293-46-1121）
- ・高萩協同病院（0293-23-1122）
- ・日立総合病院（0294-23-1111）

### 【大会役員】

会長	高橋 芳雄			
副会長	西野 博文	田村 耕司	吉田 尚史	
顧問会	長谷川 幸生	佐川 秀次	阿部 幸江	佐藤 博之
大会実行委員長	杉内 洋之			
大会実行副委員長	大野 卓美	三本木 篤史	軍司 正信	小林 隆弘

### 【競技役員】

総務委員会		競技委員会	
委員長	小林 隆弘	委員長	軍司 正信
副委員長	大部 優菜	副委員長	河野 瑞
審判委員会		TO委員会	
委員長	加藤 政幸	委員長	伊藤 敏幸
副委員長	黒澤 浩二	副委員長	山本 哲也
広報委員会		会計委員会	
委員長	鈴木 基永	委員長	今野 亮
副委員長	平塚 修士	副委員長	安田 浩行
コミッショナー委員会		育成委員会	
委員長	千葉 徹	委員長	根本 淳史
副委員長	松山 直幸	副委員長	今野 亮
感染症対策委員会		監事	黒澤 浩二 橋本 大輔
委員長	杉内 洋之		